

5/28
(土)

地元の農産物で郷土愛を育む 子ども食堂「おいでよ」

ふれあいホール「おいでよ！」

event

ふれあいホール「おいでよ！」で、りょうぜんマルシェ実行委員会（会長大竹重政）による子ども食堂が開かれました。この事業は、栄養のある食事や温かな団欒の機会を提供し、笑顔と人のつながりをつくることを目的にスタート。今回は、タケノコやシイタケ、キュウリなど、地元の美味しい農産物を使



ったお弁当 65 食が準備され、オープンから子どもたちが訪れました。子ども食堂は、毎月第 4 土曜日に開かれます。

6/1
(水)

民間のノウハウを活かし 観光物産分野の人材を強化

伊達市役所

ceremony

観光物産分野における人材の強化を目的に、地域活性化企業人として今泉信さん（株式会社日本旅行との協定に基づく派遣）、広域振興プランナーとして奥村明史さんの 2 人を配置しました。この配置は「観光振興」および「物産振興」の分野で、民間企業などで培ったノウハウや知見を活かし、伊達市への人の流れを創出する



取り組みを行うものです。期間は今泉さんは令和 6 年 3 月まで、奥村さんは令和 5 年 3 月までとなります。

5/25
(水)

10 回目のチャレンジデー 岡山県赤磐市と対戦

市内一円

event

15 分間以上の運動した人数を自治体同士で競う住民参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」が行われました。伊達市は、岡山県赤磐市と対戦。結果は参加率 6.8% の差で負けましたが、市内の各種団体が協力しあって、ウォーキングなどさまざまな運動に取り組みました。保原総合公園で行われた



ファイナルイベントには、約 100 人が参加し、ラグビーやキンボール、リレーマラソンを楽しみました。

5/28
(土)

居場所づくりと学習をサポート 子ども学習支援事業を開始

保原中央交流館

event

保原中央交流館で、NPO 法人保原中央自治振興会（理事長佐藤貞夫）による子ども学習支援事業が行われ、小学生 4 人が参加しました。この事業は、同振興会で運営するサロンを有効活用し、子どもの学習の支援や居場所を作ることを目的にスタートしました。講師を務めた浦野真珠さんは「保原小学校出身な



ので、後輩たちをサポートしたい」と抱負を語りました。子どもの学習支援は、毎月第 4 土曜日に開かれます。